

入場
無料

手話通訳あり

子どもの命と権利を守る活動推進協議会
第13回シンポジウム

子どもの 生きづらさ 居場所について考える

令和8年

2月1日

熊本県立劇場 大会議室

14:00~16:00 (開場 13:30)

定員:120名 (先着申込み順)

いじめ、不登校、非行、虐待、自傷、薬物……

さまざまな困難や生きづらさを抱える子どもたち、居場所のない子どもたちにどのように向き合い、寄り添うかを一緒に考えてみませんか？

第1部 「自分の人生を自分で歩く～ 子どもと関わるすべての大人へ」

基調講演

風の子クリニック(北九州市)院長 山下 風子氏

1982年北九州市生まれ。8歳で両親が離婚し、その後は母との関係がうまくいかず、非行に走る。入学した全日制高校は退学になり、定時制と通信制に通って高校の卒業資格を取得。その後、運送会社の事務員として働くなかで更生し、20歳で長女、23歳で次女を出産、一念発起して医師を目指す。28歳で医大に合格し、34歳で念願の小児科医になる。現在、シングルマザーとして仕事にプライベートに充実。

2024年、風の子クリニックを開院し、心や体の不調、不登校や非行に悩む子どもや親に「みらい外来」で向き合う。子ども愛、行動力が私の武器。今の夢は母親への支援で家族丸ごと元気にし、孤独な子どもたちを地域の大人たちと繋げる。著書に「腐ったみかんが医者になった日」(幻冬舎)。



腐ったみかん(不良少女)が
小児科医になった、山下氏

第2部 パネルディスカッション 「子どもの生きづらさ、居場所について考える」

パネリスト

東 智隆氏 (熊本市立力合中学校 教頭)

吉永 千尋氏 (チャイルドライン熊本代表)

村田 信作氏 (熊本県警察本部肥後っ子サポートセンター主任)

山下 風子氏 (風の子クリニック院長)

コーディネーター 松山 昌紹 (協議会副会長)

申込方法

氏名(フリガナ)、所属、電話番号をご記入の上、**FAX**又は**メール**でお申し込み下さい。

宛先:「子どもの命と権利を守る活動推進協議会 第13回シンポジウム係」

FAX 096-362-5759

mail kodomo20x@yahoo.co.jp

※FAXでのお申し込みは裏面をご覧ください



メール申込QR

主催/お問い合わせ 子どもの命と権利を守る活動推進協議会

〒862-0949 熊本市中心区国府1-11-2 熊本県ユニセフ協会内
TEL:096-362-5759 月・水・木・金の10:00~14:00

ホームページは

子ども守ろうネット

検索

後援(予定): 熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県ユニセフ協会、熊本日日新聞社

